

2021年8月5日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

「PRアワードグランプリ 2021」

9月1日からエントリー受付開始

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（理事長：畔柳一典）は、9月1日（水）から「PRアワードグランプリ 2021」のエントリー受付を開始いたします。

PRアワードグランプリは、企業・団体等の広報部門やPR会社が実施するパブリックリレーションズの事例を広く募集し、審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰・公開するもので、2001年にスタートしてから本年度で22回目※を迎えます。日本のコミュニケーション技術の更なる質的向上と、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を目指します。

審査員には、パブリックリレーションズのプロフェッショナルの方々に加え、アカデミズムやジャーナリストの方々にも参加していただきます。多彩なエントリーに対し多角的な視点で評価を行うことにより、PR業務の最高峰を選出するアワードの実現を目指します。また、例年通り9月1日から9月30日までのエントリーは、通常エントリー料の半額で応募いただける「早期エントリー制」を導入し、応募層の拡大を図ります。

スケジュールは、2021年9月1日（水）の受付開始から、早期エントリーの締切を2021年9月30日（木）、最終エントリーの締切を10月26日（火）17:00必着といたします。

詳しくは下記URLをご確認ください。

<PRSJサイト> <https://prs.or.jp/pr-award/>

※ 2001年度は2回開催

「PRアワードグランプリ 2021」募集概要

◇ 趣旨

パブリックリレーションズの活動事例を広く募集し、審査を通じて優秀な活動を表彰・公開し、日本のコミュニケーション技術の質的向上に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図る。

主催：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

後援（申請中）：経済産業省・日本広報学会・公益社団法人 日本広報協会

◇ エントリー条件

企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、最近1年間に成果があがったもの。（複数年にわたり現在も継続している活動を含む。また、過去にエントリーした案件であっても活動継続中であれば再度エントリー可。）

◇ 応募について

日本におけるパブリックリレーションズ活動の幅広い事例を募集します。

統合的なコミュニケーション活動から、広報・PRに関する調査研究・著作まで日本のパブリックリレーションズを代表し、業界の発展やレピュテーションの向上に資する事例をお寄せください。

応募にあたっては、なぜこの活動がパブリックリレーションズの事例としてふさわしいかを明記していただき

- 1) Strategy & Research 課題解決のための戦略性
- 2) Idea 課題解決のための独創性
- 3) Execution 活動内容の専門性または完成度
- 4) Documented Results 目標に対する直接的・間接的な成果（社会またはPR業界への影響力の高さ）

の4つの評価ポイントを明らかにしていただきます。

特に4. 目標に対する直接的・間接的な成果評価を明確にするために、応募の際に以下のカテゴリーを選んでいただきます。

■ コーポレート・コミュニケーション

顧客・社員・社会等のステークホルダーからの支持と理解を得て、企業・公共機関・団体の活動を円滑に推進し、企業等の価値向上や組織変革に資するコミュニケーション活動（インターナルコミュニケーションや継続的な活動実施の蓄積による価値創出なども含む）

（成果イメージ）：企業レピュテーション・企業イメージ向上の客観的なエビデンスなど

■ マーケティング・コミュニケーション

商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動

（成果イメージ）：商品・サービスの売上や話題化獲得の客観的なエビデンスなど

■ ソーシャルグッド

企業・公共機関・団体が社会の重要な構成員として、積極的に社会的課題の解決への取組や社会貢献の推進を行うためのコミュニケーション活動

(成果イメージ)：ソーシャルグッドのための活動・プログラムの認知度向上、参加者の増加などの客観的なエビデンスなど

■ その他

パブリックリレーションズにおける調査や研究開発、執筆活動など、日本におけるパブリックリレーションズの質的な向上や普及拡大に貢献したもの。また上記3つ（コーポレート、マーケティング、ソーシャルグッド）の活動の成果イメージに当てはまらないもの。

(成果イメージ)：それぞれの目的とそれに対する客観的なエビデンスや成果を明記してください

なお、いずれの成果イメージにおいてもパブリシティの広告換算を入れることは禁止といたします。

- ◇ 募集期間 : 2021年9月1日(水)～2021年10月26日(火) 17:00 必着
早期エントリー締切: 2021年9月30日(木) までの
受付記録があるもの
最終エントリー締切: 2021年10月26日(火) 17:00 必着

◇ エントリー方法

- ① PRSJ ウェブサイトからエントリーシートをダウンロード。
- ② 「PRアワードグランプリ 2021」(9月1日オープン)のエントリーフォームに、必要事項を入力し、記入したエントリーシートを添付して登録。
- ③ エントリー締切後に、エントリー料の請求書を送付いたします。
2021年11月30日(月)までにお振込みをお願いします。

◇ エントリー料

早期エントリー: 11,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途)
最終エントリー: 22,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途)

◇ 審査方法

審査員長のもと、9名の審査員で審査団を構成。審査員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。部門横断で全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。なお、顕彰委員会及び審査団の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査(11月8日(月)予定)
審査団が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。
2. グランプリ審査(11月29日(月)予定)
一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査員からの質疑応答のセッションを実施し、全てのセッション終了後、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」各賞を決定いたします。
審査終了後、審査結果をご担当者へメールにてご連絡いたします。

2. 表彰式・プレゼンテーションについて

シルバー以上を受賞の皆様には、受賞エントリーについてプレゼンテーションを行っていただきます。

日時：2021年12月14日（火）12：30～16：00（予定）

※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン配信などの形式で公開を検討

※詳細は、11月下旬に受賞者に個別にご連絡いたします。

◇ 表彰

「グランプリ」：1点（トロフィーを授与）

「ゴールド」：2点（トロフィーを授与）

「シルバー」：5点（トロフィーを授与）

「ブロンズ」：7点（表彰状を授与）

※上記は目安であり、最終的な表彰点数は審査団の協議により決定いたします

< 審査委員団 >（敬称略、50音順）

■審査員長（敬称略）

井口 理 株式会社電通パブリックリレーションズ 執行役員

■審査団(9名)（敬称略／氏名50音順）

阿久津 聡 一橋大学大学院 経営管理研究科教授

太田 郁子 株式会社博報堂ケトル 代表取締役社長 共同 CEO

岡本 浩之 くら寿司株式会社 執行役員 広報宣伝 IR 本部長

高野 祐樹 株式会社井之上パブリックリレーションズ 執行役員

田上 智子 株式会社刀
エグゼクティブディレクター ストラテジックコミュニケーション

河 昶珍 広島市立大学 広島平和研究所 准教授

浜田 敬子 ジャーナリスト 元 AERA 編集長

松本 理永 株式会社サニーサイドアップ 取締役 CBO /
公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 顕彰委員会

吉宮 拓 株式会社プラップジャパン 取締役 戦略企画本部長

◇ その他

「PRアワードグランプリ 2021」上位入賞者は下記をはじめとする協会活動にご協力いただきますので、ご了承ください。

- ① 12月14日開催予定の表彰式・プレゼンテーションにおける事例のプレゼンテーション（一般に向けてのオンライン配信を含む）
- ② PR S J Webサイト・アーカイブで受賞者の発表および活動内容の紹介（エントリーシート of 公開を含む）。
- ③ 協会出版物（「PR Yearbook」「協会ニュース」など）にて受賞者の発表および活動内容の紹介。
- ④ PR S J主催のセミナー等で、エントリーの活動内容の紹介をしていただく場合があります。
- ⑤ 今後のPRアワードグランプリなどに関する告知・啓発活動にご協力をお願いする場合があります。
- ⑥ PR S Jが参加する展示会へのパネル出展にご協力いただく場合があります。

添付資料 1

「PRアワードグランプリ」前年度受賞一覧（会社名は当時）

| 2020 年度 | エントリー会社名 | エントリー名 |
|---------|------------------------------------|--|
| グランプリ | ダイキン工業(株) | “上手な換気の方法”を伝えたい！ 「空気で答えを出す会社」の底力 |
| | (株)井之上パブリックリレーションズ | 「新型コロナウイルスに関する危機管理広報初動マニュアル」 無償提供でコロナ禍での 本質的 PR 発想を最短最速で日本中に提供 |
| ゴールド | 該当なし | |
| シルバー | (株)電通 | #家でも防災訓練してますか？ もしものときのサララップ®活用術 |
| | (株)本田事務所／(株)マテリアル | 冷凍餃子#手間抜き論争 |
| | (株)サニーサイドアップ | コロナ禍にさらされた“日本の伝統文化産業”を救え。 伝統文化の担い手と顧客を繋ぐ「にほんもの/NIHONMONO」プ ロジェクト |
| | (株)ADK クリエイティブ・ワン／ (株)サニーサイドアップ | 分身ロボットカフェ DAWN ver.β |
| | (株)博報堂 | ユニ・チャーム ソフィ #NoBagForMe プロジェクト |
| | (株)博報堂 | 交通事故から子供を守れ 肩にかけるおまわりさん まもってト ート |
| | (株)オズマピーアール | 乾癬(かんせん)の疾患啓発活動「FACT FASHION ～真実を着 る、誤解を脱ぐ。～」 |
| ブロンズ | (株)電通 | 緊急開催！チンアナゴ顔見せ祭り！ |
| | 京都府福知山市 | 緊急事態宣言下、明智光秀と市役所からの「謀反のお知らせ」 |
| | (株)読売広告社 | 休校・休園にとまなう子供たちのための無償サポートプログラム |
| | (株)パブリックグッド | 社会課題解決と消費者ニーズに対応する、新しいお歳暮のカタ チ「ポ歳暮」 |
| | Ubie(株) | 「私たち」を増やす「仲間づくり」で挑み続ける医療課題解決 —PA・PR、両利きのイノベーション— |
| | (株)電通 | Chief Future Officer |
| | オフサイド(株) | 日本の経理をもっと自由にプロジェクト |
| 奨励賞 | アメリカン・エキスプレス・インターナ ショナル, Inc. | ニューノーマル時代の社内コミュニケーション 社員向けポッドキャスト |

※2019 年以前の受賞エントリーについては下記 URL からご覧いただけます。

<https://prsj.or.jp/pr-award/list/>

添付資料 2

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRS J）は、日本PR協会（1964年結成）と日本PR業協会（1974年設立）が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般の企業・団体の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者などの個人会員を含む約700名で組織されているパブリックリレーションズ（PR）のプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益社団法人の認定を受けました。

主な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、「PR Yearbook」「協会ニュース」「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与した人物・団体を表彰する「日本PR大賞PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じてパブリックリレーションズの普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年には、PRプロフェッショナルとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など、幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」（現在は「広報・PR実務講座」）を新たに開講いたしました。また2018年10月、PRプランナー試験に対応した公式テキストを全面改訂し、『広報・PR概説（1次試験対応テキスト）』と、『広報・PR実践（2次・3次試験対応テキスト）』を出版、2019年6月には、『広報・PR資格試験参考問題集』を出版しています。

2019年6月、パブリックリレーションズ活動の指針を定めた「PR活動ガイドライン」を策定いたしました。PRの仕事に携わるすべての関係者に向けて、PR活動のあるべき姿を提示するとともに、高い倫理観の下でPR活動の社会的責任を強く自覚することを求めています。

当協会はこれらの活動を通じて、広報・PRの普及と発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147